

なら

技術だより



2003.5. NO.



なら産業活性化プラザ

4月1日より工業技術センターは「なら産業活性化プラザ」として、関係団体とともにワンストップ型で専門性の高い産業新興拠点となりました。

目次

就任にあたって	2
なら産業活性化プラザのご案内	3
平成15年度事業概要	4
センターの組織および職員構成	5
特許電子図書館情報検索指導アドバイザーのご案内	6
CAD/CAM技術研修	7
平成15年度技術フォーラムのご案内	8

巻頭言

就任にあたって

奈良県商工労働部次長兼産業科学振興室長 小島 義己



このたび、奈良県産業科学振興室長を拝命いたしました小島でございます。私は、県の民間実務経験者採用の第1期生として4月1日付けで初めて公務員となったわけですが、職務の重大さに身を引き締めるとともに、民間での研究開発や事業化に携わってきた経験や知識を活かして、大学や研究所で開発された技術を、中小企業に役立てるシステムを創るため、お役に立てるよう、心新たに商工行政に取り組んでまいり所存です。

日本経済が低迷する中で、県内の製造業も非常に厳しい状況にあり、平成13年の工業統計調査によりますと、前年の調査に比べて、事業所数が9.5%、製造品出荷額が11.2%と、それぞれ大きな減少を示しており、県内における創造的企業の創出・育成が喫緊の課題となっています。

このような背景を踏まえて、政府では、我が国が世界のフロントランナーとして位置し続けるためには、優れた科学技術に支えられた「ものづくり」の強化が不可欠であるとの認識のもと、科学技術基本計画を策定し、財政緊縮の中にあっても、科学技術振興を重点分野に据え、強力に施策を推進しています。

奈良県においても、新しい産業の創出に関して産研学連携に期待するところは大きく、平成15年3月に科学技術振興指針を策定し、それに基づいた産業技術力強化のための研究開発の振興や、産研学の交流・共同研究のしくみづくりに取り組んでまいります。県内では、大学や高専などの高等教育機関も産業界との連携に積極的な姿勢を見せていただいております。今まさに、その期は熟してきたと考えています。

これら施策が有効に機能するためには、技術革新に対応し、的確な助言・人材養成を行

うことのできる試験研究機関の充実は欠かすことができず、これを担う工業技術センターの機能強化にも、重点的に取り組んでまいります。

センターでは、13年度から受託・共同研究制度を導入したことをはじめ、14年度からは、国の地域新生コンソーシアム研究開発制度を導入して、大学や企業との共同研究体による大型研究開発にも取り組んでいます。さらに今年度は、センターが有する設備を活用して、中小企業独自の研究開発に取り組んでいただける「ものづくりオープンラボ」制度を新設するなど、産業創出のための技術開発・支援に積極的に取り組んでいます。

今後も、関係機関や団体との連携を強化しつつ、皆様の利用しやすいセンターづくりを目指すとともに、最先端の研究成果を産業分野における発展利用へと繋げることができるよう、努力してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

トピックス

ワンストップ型で専門性の高い産業振興拠点

なら産業活性化プラザ

Nara Industry Revitalization Plaza

これまで工業技術センターが立地していた所は4月1日より「なら産業活性化プラザ」となり、関係団体と連携してワンストップ型で専門性の高い産業支援拠点となりました。

(財)奈良県中小企業振興公社は(財)奈良県中小企業支援センターと改組し、7月1日に「なら産業活性化プラザ」内に移転し、同プラザの支援機能の強化を図ります。

中小企業者



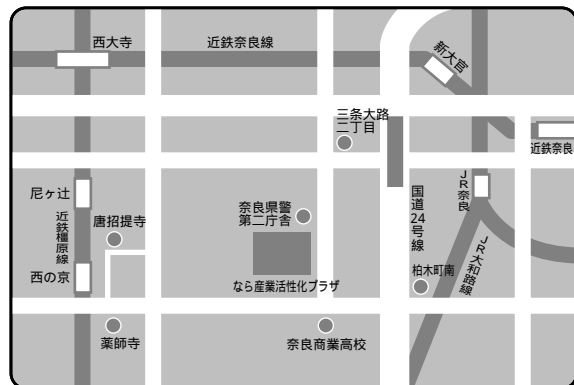
経営資源（人材・技術・資金・情報）
を総合的に支援します。

なら産業活性化プラザ

工業技術の総合支援機関	中小企業の経営支援機関	関連団体
<p>奈良県工業技術センター</p> <p>研究開発プロジェクトの実施 工業技術の情報提供やアドバイス 工業技術の交流支援 工業製品の試験・評価 試験・評価機器の開放 産業界における技術人材の養成 特許等知的所有権の有効活用 計量関係事業者の登録 計量器の検定及び基準器検査 など</p> <p>TEL:0742-33-0817 URL:http://www.niit.pref.nara.jp/</p>	<p>(財)奈良県中小企業支援センター (H15.4.1(財)奈良県中小企業振興公社から改組)</p> <p>設備資金貸付、設備貸与 ベンチャー企業創出支援 総合相談窓口、専門家派遣 取引適正化・苦情紛争処理 下請取引情報収集提供 IT化支援、調査分析、経営情報提供 創業・経営革新支援、事業可能性評価 起業家育成、産研学交流 提案公募型研究開発プロジェクト管理 実用化・製品化研究開発調査 異業種交流 など</p> <p>(H15.7.1"なら産業活性化プラザ"内に移転) TEL:0742-36-4001(7.1まで0742-20-2622) URL:http://www.narakenkosha.or.jp/</p>	<p>(社)発明協会 奈良県支部 0742-34-6115</p> <p>(社)奈良工業会 0742-36-7370</p> <p>(社)日本溶接協会 奈良県支部 0742-33-6222</p>

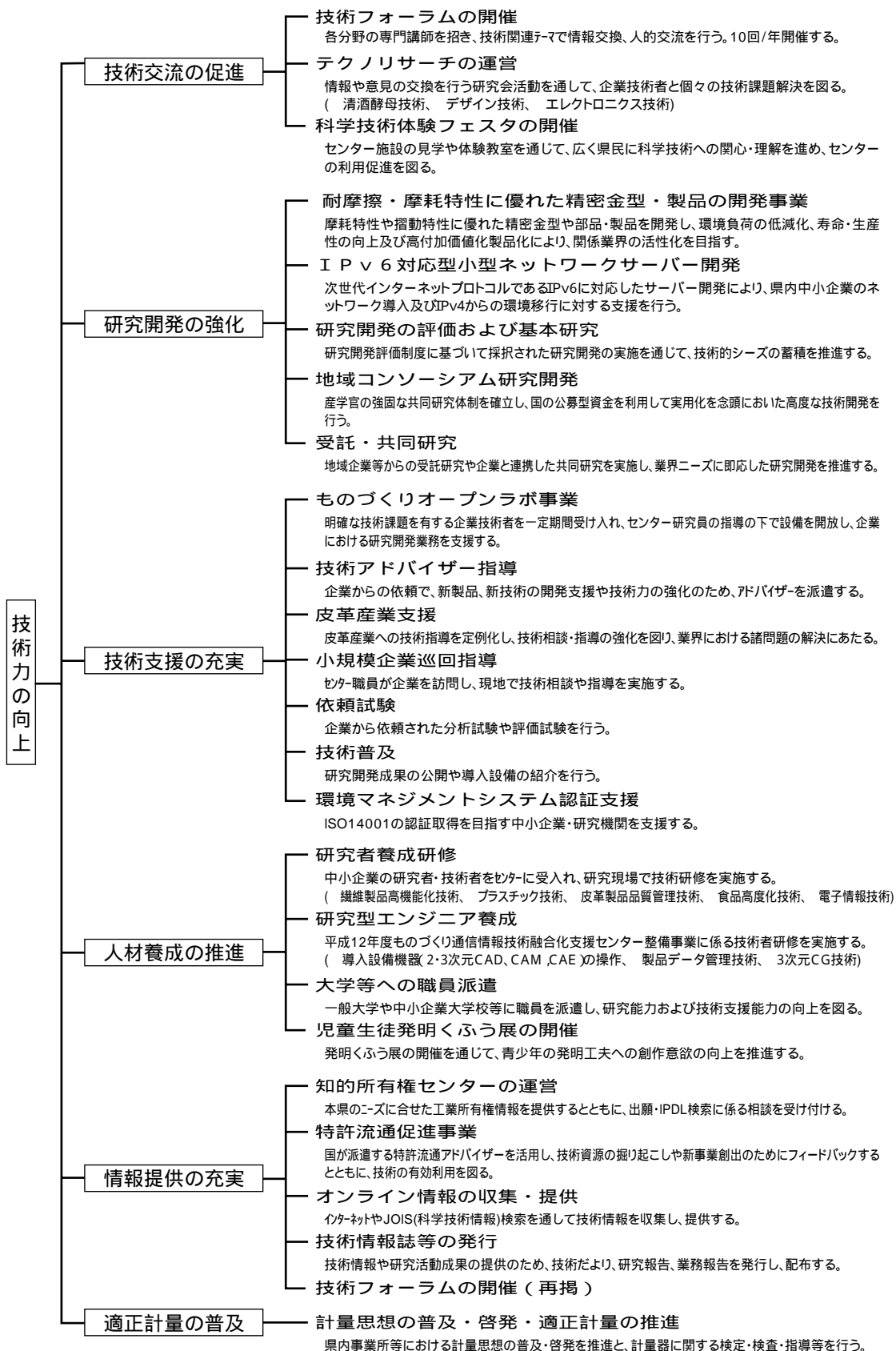


プラザ全景



付近見取図

平成15年度奈良県工業技術センター事業概要



奈良県工業技術センター組織および職員構成

(平成15年4月1日現在)



[技術系30名、事務系11名、嘱託2名]

アラカルト

特許電子図書館の相談申込について

北田 友彦 (IPDL 検索アドバイザー)

奈良県知的所有権センターは、発明の奨励をはかるとともに、知的所有権に関する相談、特許公報類の検索閲覧（特許電子図書館の利用）などのサービスを行っています。

特許電子図書館（IPDL）は特許庁が保有する特許情報のデータベースで、インターネット上に約5000万件が提供されており、無料で使うことができます。

多くの情報ですので、その中からどのように希望の情報を取り出すか、いろいろな手法があります。個々の手法の解説と、いずれの検索手法を使用したらよいかをアドバイスするのが特許電子図書館検索指導アドバイザーです。

出張相談（こちらの方が相談者に合った説明ができ、お勧めです。）と説明会があります。いずれも電話で下記メンバーに申し込んでください。連絡先を忘れずにお願います。折り返し、詳細を連絡させていただきます。

特許電子図書館(IPDL)出張相談

申込先 Tel 0742(33)0863 奈良県知的所有権センター(奈良県工業技術センター)
IPDL検索指導アドバイザー 北田 友彦 (吉田、石戸)

申込に必要な事項 申込者(こちらから連絡できる方) 会社(事務所)名、部課名
電話番号 Fax番号

無料

説明会も行っています（無料） 電話で申し込んでください Tel 0742-33-0863。
検索アドバイザー（北田）が不在の場合は、吉田、石戸まで。

日 程	内 容*1	会 場*2
5月14日(水) 13:30～16:30	初級(特許・実用新案 意匠)	奈良県工業技術センター
5月19日(月) 13:30～16:30	初級(特許・実用新案 意匠)	奈良県広域地場産業振興センター
5月23日(金) 9:15～12:00	初級(特許・実用新案 意匠)	奈良県工業技術センター
6月 2日(月) 13:30～16:30	商標(商標 図形商標)	奈良県工業技術センター
6月 5日(木) 13:30～16:30	中級(特許IPC検索、Fターム検索)	奈良県工業技術センター
6月18日(水) 13:30～16:30	外国(USP EPC)	奈良県工業技術センター
9月 1日(月) 9:15～12:00	初級(特許・実用新案 意匠)	奈良県工業技術センター
9月 4日(木) 13:30～16:30	初級(特許・実用新案 意匠)	奈良県工業技術センター
9月26日(金) 13:30～16:30	初級(特許・実用新案 意匠)	奈良県広域地場産業振興センター
10月 8日(水) 13:30～16:30	中級(特許IPC検索、Fターム検索)	奈良県工業技術センター
11月 5日(水) 13:30～16:30	外国(USP EPC)	奈良県工業技術センター
11月 7日(金) 13:30～16:30	商標(商標 図形商標)	奈良県工業技術センター

内 容*1 内容表示の同じものは同一内容です。
会 場*2 なら産業活性化プラザ 奈良県工業技術センター 奈良市柏木町129-1
奈良県広域地場産業振興センター 大和高田市幸町2番33号

インフォメーション

ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業

CAD/CAM技術研修

機械・材料技術チーム

現在ではCADシステムを使用した図面の作成は製造現場、建築現場などにおいて、もはや標準化したと言えます。周知のとおりCADで作成した設計書は書類を電子情報として扱うことができるので、書類の管理・共有化・電子メールの利用等では非常に大きな利点があります。

国内の製造現場では製品の少量多品種化に対応することが出来なければ生き残れないとも言われており、その為には納期の短縮化と試作のコストを下げるのが非常に重要となってきます。そこで3次元CADを用いてコンピュータ上であらかじめ製作工程をシミュレーションすることがこれらの解決に非常に有効であることが認められています。3次元CADを利用するには高性能コンピュータ及び、CADソフトを導入する必要がありますが、これらのインシャルコストが中小企業にとっては重い負担となっていました。しかし最近ではこれらが比較的、安価に入手できるようになったため企業にとって導入しやすい時期になったと言えます。



平成12年度から当センターでは「ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業」を通じて、CAD/CAM技術研修のための設備を設置するとともに研修を実施してきました。今年度も引き続き研修を実施し、中小企業技術者において初歩からのCAD/CAMの基礎的技術及び基本操作法を習得し、企業へのCAD/CAM機器の導入促進及び技術者の早期育成を図ります。

本事業で設置しました研修用設備・装置等の名称とそれぞれの仕様・型式等を次に示します。

CADシステム Solid Works2000 AutoCAD LT 2000i SmartPDM	リッドワークジャパン(株) オートス(株) 株コム
CAMシステム GOelan V4.5 for WindowsNT NCSimul	株伊シハバ 株伊シハバ
最適設計システム MSC Nastran for Windows FloWorks	日本MSC(株) 株構造計画研究所
3次元プリンタ ThermoJet TM Printer	キョ販売(株)
印刷装置プロッタ A1 Designjet 800ps	日本ヒューレットパッカド(株)
印刷装置プリンタ deskjet1220C	日本ヒューレットパッカド(株)
コントローラ MV-40M用R-H ッファ 転送用機器RunDNC	株森精機製作所 株ジエビ-IA
プロジェクタ VPL-PX31	ソニ(株)

平成15年度は下表のような各種CAD/CAM技術研修を予定していますのでご参加下さい。

番号	研修テーマ名	研修日数・定員	研修日程
1	3次元CADシステムを利用した新製品開発	1日間 50人程度	7月2日
2	3次元CAD基本操作技術	3日間 15人限定	7月8-10日
3	2次元CAD基本操作技術	2日間 20人限定	7月
4	3次元CAD体験ブース	2日間 50人程度	7月
5	3次元CAD基本操作技術	3日間 15人限定	7月
6	2次元CAD基本操作技術	3日間 20人限定	8月
7	3次元CAD連携によるCAE(構造解析)利用技術	1日間 50人程度	9月
8	CAM技術	2日間 20人程度	9月
9	3次元CADを使用した商品試作の現状と将来	1日間 50人程度	10月
10	PDMシステムの動向と適用事例	1日間 50人程度	11月
11	CAD/CAM技術 随時研修	制限無し(随時)	随時

都合により変更することがあります。

【お問い合わせ先】
奈良県工業技術センター
機械・材料技術チーム
TEL:0742-33-0817(代)
FAX:0742-34-6705

インフォメーション

平成15年度技術フォーラム開催

工業技術センターでは、工業技術に関する最新情報など、企業のニーズに沿ったテーマにより「技術フォーラム」を年10回開催しております。今年度の講演内容は下記のとおりです。企業の技術力および経営ポテンシャルの向上を目指して豊富な話題を皆さまに提供していきます。ぜひともご参加ください。

1. 年間内容

	日時	テーマ	講師
1	5月27日(火) 14:00～16:00	ISO14001で企業の信頼を ～ISO認証取得を企業経営に役立てる～	株式会社アール・エム・アイ 取締役研究所長 井上喬 氏
2	6月24日(火) 14:00～16:00	新商品開発とデザイン	奈良デザイン協会 常任理事 浦芳史 氏 常任理事 辻政明 氏
3	7月23日(水) 14:00～16:00	私たちにできる環境まちづくり	立命館大学工学部土木工学科 助教授 笹谷康之 氏
4	8月27日(水) 14:00～16:00	環境規制は新たなビジネスチャンスを生む	有限会社環境システム研究所 代表取締役 神田喜代一 氏
5	9月25日(木) 14:00～16:00	未利用特許の活用で事業に活力を!	特許流通アドバイザー (講師未定)
6	10月30日(木) 14:00～16:00	中小企業のためのIT活用術	株式会社ラクーン 代表取締役 小方功 氏
7	11月21日(金) 14:00～16:30	最近の食品の安全・安心に係わる話題と HACCP関連の最新情報	奈良県技術アドバイザー 上田修 氏 他2名
8	12月11日(木) 14:00～16:00	ナノテクノロジーの可能性 ～夢の材料カーボンナノチューブが産業を変える～	大阪府立大学大学院工学研究科 教授 中山喜萬 氏
9	1月28日(水) 14:00～16:00	微生物による驚異の環境浄化	株式会社大阪生物環境科学研究所 代表取締役 森下日出旗 氏
10	2月24日(火) 14:00～16:00	勝ち残るための企業経営術 ～起業の経験をつうじて～	株式会社発明工房 取締役会長 藤村靖之 氏

2. その他

- ・会場はいつでもなら産業活性化プラザ奈良県工業技術センターイベントホールです。
- ・参加費は無料です。
- ・講師および開催日程等を変更する場合がございますのでご注意ください。

工業技術センターでは技術フォーラムのご案内をEメールで配信しております。配信を希望される方は、貴社名、所属、氏名、ご住所、FAX番号、メールアドレスを下記のメールアドレスまで送信してください。

【お問い合わせ先】

奈良県工業技術センター 企画・交流支援チーム 担当:西村、坂口

TEL: 0742-33-0817

FAX: 0742-34-6705

E-mail: kikaku@niit.pref.nara.jp

なら 技術だより

Vol. 2 1 No. 1 (通巻 1 1 7 号)

平成 15 年 5 月 9 日 発行

編集発行

なら産業活性化プラザ
奈良県工業技術センター
〒630-8031 奈良市柏木町129の1
TEL 0742-33-0817(代表)
FAX 0742-34-6705
<http://www.niit.pref.nara.jp/>

次号は7月10日発行予定 2003.5.-1500
再生紙を使用しています